

トークセッション

“おせっかい上等”

【仏教 × アートセラピー】 Vol.1

2010年11月17日(水) 20時開談 円融寺 <http://www.enyuu-ji.com/>



僧侶：プロフィール

阿 純章 (おか じゅんしょう・〈俗名〉すみあき)

1969年 東京生まれ

小学校から高校までキリスト教系の学校に通い、キリスト教に関心を持つ。

その後、早稲田大学第一文学部に入学し、東洋哲学専修で中国思想を学ぶ。同時に映画監督の道を模索するもすぐに挫折。学問の道に専念し、同大学院で中国仏教の研究に従事。

博士課程の間に中国に留学。北京大学に入学し、高級進修生として大学院で仏教および中国思想を学ぶ。また、中国の仏教遺跡巡りに魅せられる。

帰国後、博士課程を卒業し、円融寺の副住職をつとめる他に、早稲田大学、専修大学等で非常勤講師をしながら、中国仏教の思想と歴史を研究し、学会や論文で研究発表を続けている。

数年前までは研究者としての道をひたすら真っ直ぐに進んでいたが、その一方で仏教の生き方が現代人(私自身を含め)の心に求められていると強く感じ、今まさに待たなしの状況の中で、

「知識の仏教」だけでなく「体験する仏教」を広めていきたいという思いから、坐禅を中心に寺院で様々な活動を行っている。

人生は一本道ではなく、様々なバイパスの建設を楽しんでいる真っ最中。

&



アーティスト：プロフィール

志美津 民綱 (しみづ たみつな)

1974年 東京生まれ

14歳で単身、英国留学。

16歳から、昼間は全日制の高校に通い、夜デザインの専門学校に通う。(以降、昼と夜の顔を使い分けて生活?)

この頃から、海外を巡業し始める。芸術の島バリ島では自転車で巡業しながら木彫修行。

古代遺跡の国エジプトではピラミッドの頂上から眺める夜景に感動し、ヒエログラフと天文学の研究。

世界中の人々と出会えたニューヨークのアートカレッジでアートセラピーを学ぶ。

帰国後、展覧会/個展など精力的に活動。芸術学院等の講師を勤め、画壇の扉を開けるも、狭すぎる環境にエスケープ。

2010年現在、3児の父。

“感動はひとを美しくする”をテーマに想像力を通じて、その人本来の姿に導くお手伝いや、心身のバランスを整え、精神を自由にするサポートを致します。

*注 サポートの基本は、それを受けたいという、クライアント側の強い意志が前提となります。宗教/医療行為ではありません。

モットーは「よわいものいじめはきらいだ

つよがるひとはほもつときらいだ」

「僧職系男子と肉食系アートセラピストが現代社会を元気にする！」

今、私たちの社会は元気がありません！不景気が原因ともいえますが、本当にお金だけの問題なのでしょうか？どこか自信がなくて周りの空気ばかり気にする子ども。必要以上の人との関わりを持ちたがらない大人。人と人との絆がちゃんと結ばれていないような気がします。人へのおせっかいを嫌い、誰にも迷惑をかけたがらない生き方が、かえって人間が本来もっている生きる力を阻害しているのではいなかろうか？

元気で明るく生きるコツについて、お坊さんとアーティストが思い存分語り合います。参加自由なので、お話だけでも聞いてみたい方、ちょっとだけ興味がある方、一緒に話したい方、どなたでも大歓迎です！

日時：2010年11月17日(水曜日) 20時開談(トークセッションは約1時間を予定)

その後は、参加者の皆さんを含めてビール片手に自由トーク。自由解散(終了時間は22時30分です)

会場：円融寺 旧庫裏(釈迦堂向かって右側の建物です) <http://www.enyuu-ji.com/>

費用：浄財(カンパ) ※ビール(1缶)とおつまみ代は別途料金(500円)がかかります。